

おおずの女性 ～輝いて今～

笑顔と元気で社会貢献

平成28年度大洲市連合婦人会大会が3月3日(金)、肱南公民館で開催されました。

主催者を代表して三好康子会長は「地域での婦人会の役割は大きい。男女を問わず、みなさんと少しでも社会貢献できるよう日々努力したい。女性ならではの感性を生かし、これからの会員のみなさんと協力しながら活動に取り組んでいきたい」とあいさつしました。

連合婦人会各部長による28年度の活動実践報告の後、大洲婦道会から笑いヨガの紹介と自身の体験を通して考える三世代交流について、また南久米婦人会からは婦人



大洲市連合婦人会大会



笑いヨガを実践中

会の防災への取り組み状況について、研究発表と協議が行われました。

その後、堺勝俊中央公民館長による「今日はうれしいひなまつり」と題した記念講話があり、「体を動かすことが心と体の健康につながる。人は何歳になっても夢や希望があれば元気が湧いてくる。これからも笑顔と元気で婦人会活動を頑張っていきたい」と、ユーモアあふれる口調で話しました。約120人が参加した会場からは笑い声が上がり、終始温かな雰囲気

文化財

沼田のタブノキ林
大洲市指定天然記念物
個人所有



この樹叢は、平野町平地の沼田地区に所在し、標高約300mの、南へのびる尾根の先端に位置しています。

タブノキは、常緑広葉樹林を構成する代表的な樹種です。本樹叢では、残念ながら巨木数本が枯死してしまいましたが、現在、2本の古木と数本の若木とが葉を茂らせています。このうち古木の1本は樹高約22m、胸高幹周は5.6mあり、推定樹齢は300年を数えます。

また、本樹叢内にはタブノキ以外に、同じく常緑樹であるヤブニッケイやカゴノキ、シロダモ、ヤブツバキなども生育しています。このことは、市内にあるタブノキの樹叢の植生を知るうえで、重要なものといえます。

(昭和37年2月3日指定)

野鳥

カンムリウミスズメ
(冠海雀)
チドリ目 ウミスズメ科
全長 24cm



最も南に生息するウミスズメの仲間です。ムクドリぐらいの大きさで、頭に冠のような飾り羽があります。日本近海のみで生息し、世界でも推定5,000～10,000羽しかいないそうで、国の天然記念物や絶滅危惧種に指定されています。

有名な繁殖地は宮崎県の批榔島^{びろうじま}で、愛媛県から近いこともあり、長浜沖でも出会うことがあります。ほとんど海上で過ごすため陸地とは無縁のようですが、人間により持ち込まれたネコやネズミによって島の繁殖場所が奪われ、絶滅の危機に立たされているという現実があります。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④



- ③ 約350万本
② 約250万本
① 約100万本

【今月のクイズ】
五郎河川敷の約7畝の菜の花畑には、菜の花が何本あるでしょうか。

春の日差しが心地よい毎日が続いています。いかががお過ごしでしょうか。
青年部も新年度がスタートしました。公開例会や、会員交流会など、私たちの活動を知る機会がありますので、青年部の活動について興味をもった人は、ぜひ参加してみてください。
地元が好きで、大洲の経済を良くしたい、経営者としての資質を高めたい、仲間をつくりたいという人、私たちと一緒に活動しませんか。

※今月号の答えは、広報大洲5月号に掲載します。



正解：②
解説：6校の5年生の10年前の児童数を調べると、約300人でした。人口減少が進むなかで、定住人口を増やすためには、それなりの収入がある仕事が必要です。青年部のメンバーは経営者が多いのですが、好条件での雇用を増やすための頑張りが必要です。

【先月号のクイズの解答・解説】
平成29年3月の時点で大洲、喜多、平、久米、平野、新谷小学校の6校の5年生の合計児童数は何人でしょうか。
① 約150人
② 約250人
③ 約350人

64年ぶりの愛媛での国体 いよいよ9月30日(土)開幕

花いっぱい運動で国体に参加しませんか



「花いっぱい運動」とは、国体の競技会場を花でいっぱいにし、全国からおとずれる多くのみなさんを歓迎するための活動です。

あなたの育てた花で会場を明るく彩り、来場者を心温かくお迎えするとともに、大会を大いに盛り上げましょう。



【募集期間】	6月15日(木)まで
【募集要件】	市内に在住・在勤・在学し、指定する期間に物品の受け取りやプランター搬入のため、市役所に来庁できる人。
【活動内容】	7月にセルトレイからプランターに苗を植え替え、9月下旬まで花を育成していただきます。
【応募方法】	申込書に必要事項を記入のうえ、事務局へ申し込みください。 申込書はホームページからダウンロードできるほか、本庁・支所・各公民館などで配布しています。 http://www.ehimekokutai-ozu.jp/



【申し込み・問い合わせ先】

愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会大洲市実行委員会事務局（えひめ国体推進課） ☎57-9995

いつまでも健康で

スポーツを通じて高齢者の相互の交流と親睦を深め、健康の輪を広げることを目的に、第43回高齢者スポーツ大会が2月24日(金)、総合体育館で開催されました。

旧大洲市内の高齢者約500人が参加し、地域ごとに分かれて、チーム対抗でボール送りや玉入れなどを行いました。会場は終始和やかな雰囲気、選手には温かい声援や拍手が送られていました。



プロの迫力あるプレーを体感 ～愛媛オレンジバイキングス～

大洲市初開催となるプロバスケットボールリーグ「B・LEAGUE」の試合が2月10日(金)と11日(土)、総合体育館で開催されました。

福島ファイヤーボンズとの2連戦は、初日は70-73と惜敗しましたが、2日目は92-69で勝利しました。プロ選手のスピーディーで迫力あるプレーを間近で見ることができ、シュートが決まるたび観客から大きな歓声が沸くなど、会場は熱気に包まれていました。



心をひとつにみんなでジャンプ

愛媛県内の小学生約350人が参加した第2回愛媛県小学生なわとび選手権大会が3月5日(日)、総合体育館で開催されました。

個人戦と団体戦で競技が行われ、参加者はそれぞれの種目で日ごろの練習の成果を競い合いました。また、世界で活躍するなわとびパフォーマー粕尾将一^{かすお しょういち}さんによる、なわとび教室とパフォーマンスもあり、参加者は世界レベルの見事な技に見入っていました。



活躍祈って熱いエール

帝京第五高等学校甲子園出場壮行会が3月3日(金)、市役所で開催され、野球部員37人をはじめ学校関係者や市民など、あわせて約300人が参加しました。

部員らは応援団やチアリーダーなどによる熱のこもった激励を受け、代表して宮下勝利^{みやした かつとし}主将が「みなさんの声援をパワーに変えて、甲子園では一戦一戦頑張ります」と意気込みを語りました。



CMで新谷をアピール

「ふるさとCM大賞えひめ'17」が2月12日(日)、松山市総合コミュニティセンターで開催され、県内各自治体から一次審査を通過した25作品が上映されました。

大洲市からは、新谷一万石まちおこしの会が、銀河鉄道999を題材としたCMを出品しました。惜しくも受賞は逃しましたが、舞台上で漫画家の松本零士さんとのつながりをPRし、会場を盛り上げました。



ボランティア活動を報告

青年海外協力隊として、アフリカ西部セネガルで2年間の活動を終えた藤本顕允^{あきまさ}さんが2月10日(金)、清水市長を表敬訪問しました。

現地では安全な水を供給するため、給水施設の設置や維持管理のほか、生活改善のための啓発活動を担当していた藤本さんは、「セネガルの人とはとても優しく、助けてもらうことが多かった。今後は、今までの経験を生かして地元に貢献したい」と話しました。



地域の食材で「地域鍋」

市内の加工品生産者などを対象とした「おおず加工品開発講座」が2月20日(月)、長浜ふれあい会館で開催されました。

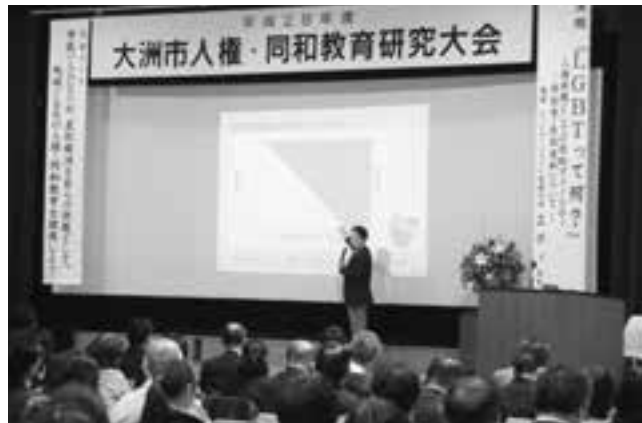
全5回開かれた講座では、6次産業化プランナー米田佳代子^{なほこ}先生の講義を受け、地域の農林水産物を使った新たな商品開発を行いました。最終回の講座では、長浜産のハモを使った「地域鍋」を作り、参加した三浦勝美^{かつみ}さんは「教えてもらったことを婦人会活動に役立てたい」と話しました。



エルジービーティー LGBTって何

大洲市人権・同和教育研究大会が2月17日(金)、国立大洲青少年交流の家で開催されました。

全体会では、レインボープライド愛媛代表エディさんによる同性愛・性別違和についての講演がありました。エディさん自身が同性愛者として偏見に苦しんだ過去や、人権問題としての性的マイノリティについて講演し、約330人の参加者は性の多様性とその理解を深めることができました。



活力ある市の発展へタッグ

愛媛大学と大洲市の連携協力協定調印式が2月13日(月)、市役所で行われました。大橋裕一愛媛大学学長は「今回を機に地域の問題を解決し、新たな価値を見出したい」と話し、清水市長は「オンラインワンのまちづくりに、共に取り組んでいただきたい」と述べました。

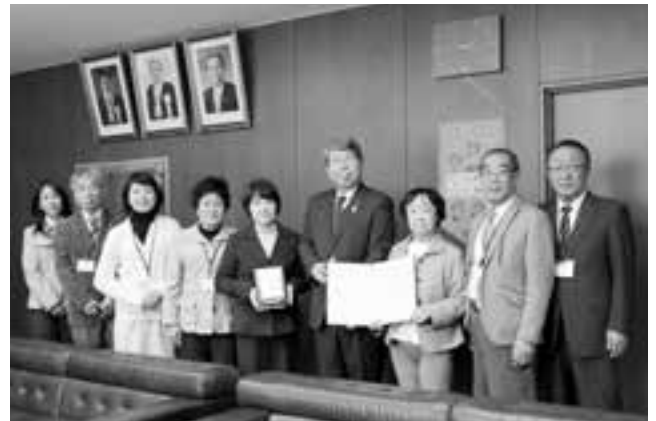
この協定により、市の歴史や観光などの分野で、学生などの若い視点や科学的な分析の活用による地域活性化が期待されます。



積極的に子育てを応援 ～チャイルド・ユースサポート章受章～

家庭教育支援チームの「大洲子育てサポート“そよ風”」が日ごろの活動を認められ、内閣府からチャイルド・ユースサポート章を受章し2月2日(木)、清水市長に受章報告を行いました。

また、優れた「早寝早起き朝ごはん」運動を行ったとして、文部科学大臣表彰を受賞することも決まり、チームリーダーの吉見和子さんは、「これからも子育て中の人に寄り添う活動を続けていきたい」と今後の抱負を述べました。



高 齢 者 叙 勲



瑞
宝
双
光
章

松 本 眞 玄さん
(柚木)

元八幡浜地方局大洲出張所長

松本さんは、長年にわたり地方自治にご尽力されたご功績により、このたび「瑞宝双光章」を受章されました。

白滝小学校と長浜小学校が統合 ～大洲市学校統合合意書調印式～

長浜地域最後の統廃合となる、白滝小学校と長浜小学校の統合合意書調印式が2月19日(日)、白滝小学校で行われました。

関係者約60人が出席した調印式で、清水市長は白滝地区の英断に敬意を表し、両校の代表者などが統合合意書へ署名した後、統廃合検討委員長があいさつをしました。

今回の調印により白滝小学校は、平成30年4月に長浜小学校と統合します。



大洲ええモンセレクション さらなる販路拡大へ



大洲ええモンセレクション認定品

古屋市）での市場ニーズ調査やイベント販売を行いました。また、県内では道後温泉と協力して試食お披露目会を実施し、食と観光の相乗的な連携を図りました。

さらに今年1月には、伊予銀行東京支店で大洲市の7事業者が、バイヤーや飲食店経営など約20社に対し、自社商品のプレゼンテーションや試食提供を行い、熱心に商談を繰り広げました。

2月には、幕張メッセで開かれた「スーパーマーケット・トレードショー2017」において、2年連続となる市単独ブースを出展



スーパーマーケット・トレードショー2017

「大洲ええモンセレクション」は、制度創設5年目を迎え、現在21事業者51品目が認定されています。市内外での認知度向上をはじめ、流通拡大の推進と地域産業の活性化を図り、認定品を通して市のイメージアップに取り組んでいます。

平成28年度は、首都圏販路開拓をはじめ、関西圏、名古屋圏でのさらなる販路拡大を目指し、ダイキなんば店（大阪市）や紀ノ國屋3店舗（東京都）、桜通りカフェ（名



紀ノ國屋大洲市フェア（青山インターナショナル店）



東京商談会（伊予銀行東京支店）

しました。地域資源を活用した全国ブースでは、6次産業化商品を中心に出品し、来場した約9万人のバイヤーなどへ向けて、商品の特長や取引条件などを説明しました。すでに成約したものや、現在商談中の案件があるなど、大きな成果に向けて取り組みを続けていきます。

今後も、地元のみなさんをはじめ、市外の人にも愛される大洲産品を目指し、販路開拓をきっかけとして、市の認知度向上や地域産業の振興、雇用創出など、地域経済の発展につながるよう積極的に取り組んでいきます。



地域の安全確保へ 士気高く

～平成29年大洲市消防出初式～



平成29年大洲市消防出初式が3月5日(日)、若宮の河川敷グラウンドで行われ、市内各地から1451人の消防団員が出席しました。

式では、殉職消防職団員に対する黙とうを捧げた後、各分団によるポンプ車操法・小型ポンプおよび軽可搬ポンプ操法・小隊訓練が披露されました。団員の統制のとれた動きに、会場からは大きな拍手が送られました。

清水市長は、防災に対する日々の取り組みに感謝を表すとともに「近年は災害、地震が頻発し、消防団員の活動が中核的存在として大きな役割を果たすことが期待されている。今後も、団員の確保と施設整備をはじめ、安全で安心できるまちづくりに全力で取り組みたい」と式辞を述べました。

その後、活動に功績のあった団員などに表彰状や感謝状が贈呈されました。受章者を代表して、新谷分団矢野秀次分団長が「今回の受章は、支えてくれた家族や、消防団活動への理解をいただいた職場のみなさんのおかげ。今後、地域住民の生命と財産を守るといふ消防使命達成に向けて、訓練や知識の習得を続けていきたい」と謝辞を述べました。

今回の出初式で表彰されたみなさんは、次のとおりです。

(敬称略・一部省略)

消防庁長官表彰

功労章(1人)

団長 中川 一夫

永年勤続功労章(2人)

菅田分団 分団長 岩井 輝満
岩谷分団副分団長 山下 光幸

日本消防協会会長表彰

功績章(1人)

副団長 和左田 壽栄重

精績章(3人)

肱北分団 分団長 富永 憲司
出海分団 分団長 鈴木 与造
正山分団 分団長 稲田 弘安

勤続章(3人)

白滝分団 団員 西山 修一
白滝分団 部長 別宮 康夫
白滝分団 団員 矢野 利一

愛媛県知事表彰

功労章(9人)

南久米分団副分団長 梅原 福一
新谷分団 分団長 矢野 秀次
三善分団 分団長 清水 淳也

櫛生分団副分団長 増田 勇志
白滝分団副分団長 後藤 忠信
中央分団 分団長 城戸 光二
大谷分団副分団長 西山 秀幸
河辺分団 分団長 徳見 和也
女性分団 部長 大藤 ユリ子

愛媛県消防協会会長表彰

功績章(5人)

南久米分団分団長 吉月 剛
出海分団 分団長 鈴木 与造
正山分団 分団長 稲田 弘安
予子林分団分団長 三瀬 良治
女性分団 分団長 白石 朱美

勤続章(20年以上 6人)

肱北分団 団員 山本 芳史
南久米分団団員 松本 学
喜多灘分団班長 松岡 弘三
櫛生分団 団員 兵多 儀彦
大和分団 団員 渡邊 裕文
大和分団 団員 久保 圭司

勤続章(15年以上 18人)

肱南分団 班長 丸川 秀二
肱北分団 班長 仲岡 浩司
平野分団 班長 末廣 誠
南久米分団団員 谷 慎一
菅田分団 部長 東谷 和典
大川分団 班長 西野 恵吾
柳沢分団 団員 平尾 安茂
三善分団 団員 柳野 茂貴

勤続章

予子林分団団員 河辺分団 団員
正山分団 班長 白滝分団 班長
大和分団 団員 出海分団 班長
櫛生分団 団員 長浜分団 班長
上須戒分団班長 粟津分団 団員

(10年以上・15年未満28人)

旭 貴之
福田 浩司
高橋 直人
櫻本 司
中村 茂
今田 健一
宮内 宏明
山田 耕士
宮田 哲男
塚野 俊二
村上 良太
西川 克洋
大森 隆
増田 弘和
木下 繁雄
矢野 洋一郎
柴田 勝
河内 章
坂本 章一
白石 正和
福島 豊貴
谷本 和幸
高田 勇樹
藤岡 寛
松岡 博文
大石 明
東 敬士
峯脇 茂暢
石山 敦次

大和分団 団員

白滝分団 団員

白滝分団 班長

中央分団 団員

正山分団 班長

大谷分団 団員

予子林分団団員

河辺分団 団員

女性分団副分団長

規律章(勤続10年未満1人)

平野分団 団員

家族内助の功労章(1人)

副団長

夫人 岩田 あつ子

優良団体表彰(2団体)

若宮地域自主防災組織

会長

肱南婦人防火クラブ

会長

大洲市長表彰(63人)

山崎 由紀

大洲喜多消防団連合会長表彰

規律章(20人)

勤続章(16人)

大洲市消防団長表彰(79人)

村上 一郎

石岡 正

山中 誠二

二宮 和也

立花 昌志

岩田 耕司

畑山 信仁

露内 久志

國井 幸恵

木村 孝明

岩田 清一

岩田 あつ子

手水川 公

山崎 由紀

手水川 公

山崎 由紀

山崎 由紀

山崎 由紀

山崎 由紀

山崎 由紀

山崎 由紀

山崎 由紀

山崎 由紀

山崎 由紀

山崎 由紀

山崎 由紀

山崎 由紀

山崎 由紀

山崎 由紀

山崎 由紀

山崎 由紀

山崎 由紀